

結核通信

令和元年10月発行

川崎市健康福祉局保健所

感染症対策課 エイズ・結核担当

TEL: 044-200-2439



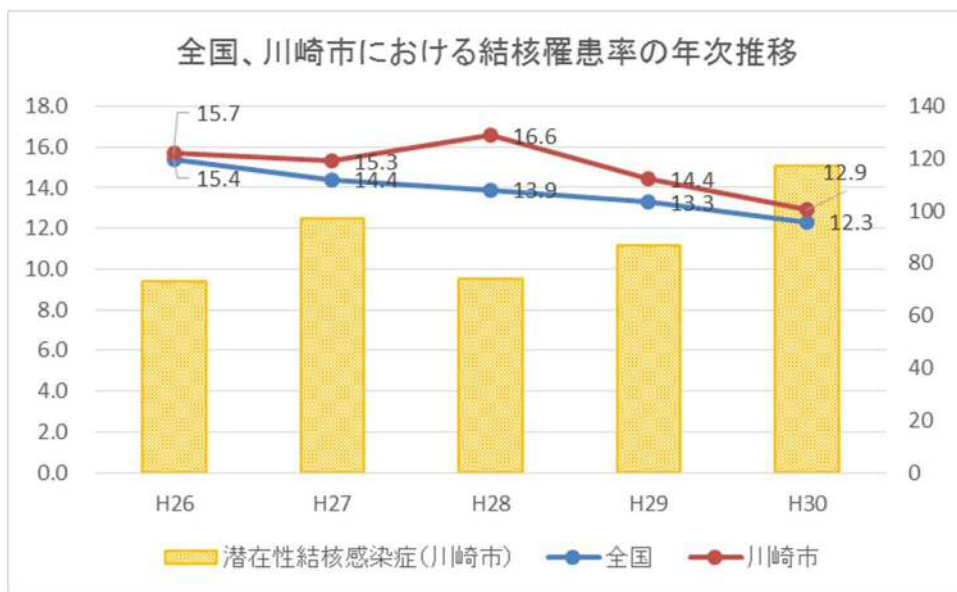
Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

忘れた頃にやってくる、結核

結核は、今でも年間15,000人以上の新しい患者が発生し、約2,000人が命を落としている日本の主要な感染症です。全国的にも患者数は減少傾向にありますが、「痰のからむ咳が2週間以上続いている」、「微熱・身体のだるさが2週間以上続いている」などの症状に心当たりがある場合には、いつもの「風邪」と決めつけてしまわずに、早めに医療機関を受診して、いつもと違うところを医師に伝えましょう。

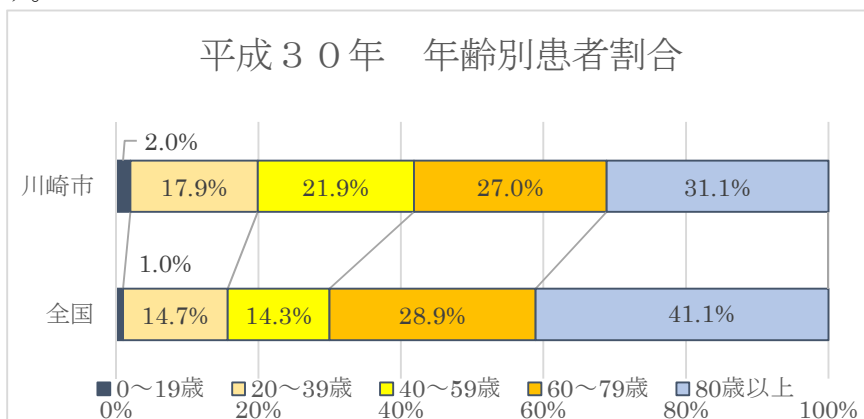


平成30年は、川崎市でも196人が新規結核患者として登録されています。



高齢者の割合が増加しています

新登録患者に占める高齢者の割合は、若い時に感染していた高齢者が免疫力の低下に伴い発病する影響を受けて増加傾向にあります。特に、高齢者の結核においては呼吸器症状に乏しいなど、典型的な症状が見られないことも多く、早期発見のためには日頃の健康観察や定期の健康診断（胸部エックス線検査）の実施が重要です。



高齢者の結核早期発見・早期診断のためには裏面の「毎日の健康チェックリスト」なども御活用ください。



(裏面へ)



毎日の健康チェックリスト

(結核早期発見のためのチェックポイント)

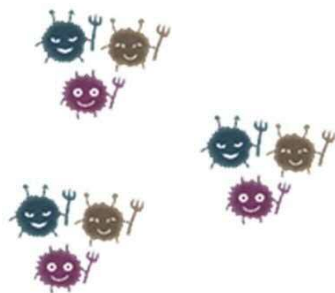
- 3項目のチェックポイントを参考に、毎日の健康観察を行いましょ。
- 入浴などのケアの機会には、特に注意深く観察しましょ。
- 健康観察の結果を記録に残し、症状が継続しているかどうか、誰でも確認できるようにしましょ。
- ポイントに当てはまる場合には、結核の早期診断につなげましょ。

～チェックリストの使い方～

- ・毎日実施している健康観察に加えて、入浴時等を利用して3項目のポイントを看護・介護等入所者に関わる全職員が、注意深く観察していただき、経過が経時的に分かるように記録してください。現在各施設で利用しているものに追加されてもよいと思います。
- ・浴室・更衣室等にチェックポイントを貼っておくのもよいと思います。
- ・3か月に1度は、朝礼や申し送り等の時間を利用し、看護・介護等入所者に関わる全職員に対して、周知徹底をお願いします。
- ・異常があれば、看護師に相談する体制をつくっておきましょ。

1 全体の印象

- なんとなく元気がない
- 活気がない



2 全身症状

- 37.5度以上の発熱
- 体重の減少
- 食欲がない
- 全身の倦怠感

3 呼吸器系の症状

- 咳(せき)
- たん
- 血痰
- 胸痛
- 頻回呼吸
- 呼吸困難

